



1 安全に関するご注意

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。












図記号の例



は、禁止（してはいけないこと）を示します。




は、強制（必ず実行しなければならないこと）を示します。

 警告	
	本製品は家庭用です。業務使用はできません。
	本製品は食器類の洗浄用です。その他の目的で使用することはできません。
	本製品は凍結のおそれがある所では使用できません。
	浴室、ベランダ、地下などの湿気の多い場所には設置しないでください。
	絶対に分解・修理・改造を行わないでください。
	設計・施工・据付は各関係法規に準じて正しく作業を行ってください。
	各作業は本据付マニュアルに従い確実に作業を行ってください。
	電気工事は必ず有資格者が行ってください。
	アース工事は必ず有資格者が行き、D種接地工事を施してください。
	電源は200V20A以上の専用回路で漏電しゃ断器を設置してください。

2 据付をされる方へのお願い

- 作業前にはこの据付マニュアルを必ずお読みになり正しく設置してください。
- 据付後は必ず試運転を行い、機器が正常に運転するかを確認してください。また振動、異常音、水漏れなどの不具合が無いこともあわせて確認してください。
- 作業後はこの据付マニュアルをご使用者に取扱説明書、保証書共にお渡しください。

 本据付マニュアルに従わなかった場合の事故・損害は一切責任を負えません。

設置場所について

適切な設置場所を確保してください。

- ・食器を規定数量入れても耐えられるような十分に補強された固い床面に設置してください。ドアを適切に開閉するために水平な床に設置しましょう。
- ・周囲温度が0℃を下回る環境では設置しないでください。
- ・周囲の家具類から1cm以上手前に出して設置してください。
- ・硬い床面に設置してください。パイルの長いラグやそれに類する床面には設置しないでください。
注意：設置時に電源コードが踏まれないように注意してください。
- ・設置場所が食器類の出し入れに適した場所であることを確認してください。
- ・給水栓と排水設備に近い位置に設置してください。接続後に変更が出ないような場所に設置してください。

給水接続

中古品や未使用品に係わらず、古い給水ホースや給水用部材は新しい本体には使用しないでください。専用で新品の給水ホースや給水用部材を使用してください。

設置場所に問題点がないことを確認した上で、給水接続を行ってください。接続作業にあたり、最初に給水栓と本機に対して給水ホースの長さが適しているかを確認してください。長さが不十分の場合、水漏れの原因となるため、必要に応じて延長ホースを準備してください。

給水接続の際には、給水栓に繋ぐ給水ホースは損傷が無いことや給水設備に遊びが無いことを確認してください。

給水接続口が機器の背面にある場合は、機器を据付する際に給水栓に触れない事を確認してください。使用者には将来移設や清掃の際には注意するようお伝えください。

排水接続

排水ホースは水漏れしないように排水立上げ管に折り曲げずに確実に接続してください。排水ホースは機器背面の排水ホース固定具から外さないでください。排水管立上げの位置が標準と異なる場合でも、固定具に接続されていなければなりません。さらに、排水接続箇所と床面の高さは最低50cmで最大1m以内の範囲になければなりません。排水ホースを延長した際の最大長さは3.5mまでとなります。排水ホースを延長する場合は、適切なクランプで接続してください。これらの作業は水漏れを防ぐために慎重に行ってください。

アース線が機器設置場所に無い場合は、本体を電源に接続しないでください。アース線工事は有資格者が行き、アース線接続が無い場合に負うリスクは所有者に説明しなければなりません。安全上の理由から電源コードは延長してはいけません。また、延長コードは使用してはいけません。

調整脚

製品のドアが適切に閉じない場合、または本体を押すと動いてしまう場合は、調整脚の高さを調節する必要があります。

電気接続

電源プラグをアース付単相200V専用コンセントに接続してください。法律で定められた適切な電源設備でない箇所に接続して被った損害についてはいかなる責任も負いません。

- ・電気接続の際は法令を遵守してください。
- ・電源コンセントは機器設置後でも容易に抜ける場所に設置してください。

電圧やブレーカー仕様については「技術仕様」に記述されています。ブレーカーの定格電流が20A未満の場合は有資格者によって20Aブレーカーに変更してください。

- ・機器の定格電圧と供給電圧は等価でなければなりません。
- ・延長コードやマルチプラグ等によって接続してはいけません。



洗浄プログラム終了後に電源プラグは抜いてください。損傷している電源ケーブルは、専門業者にて交換してください。食器洗い機に庫内灯がある場合のランプ交換は、専門業者にて行ってください。本体に不具合が発生した場合は、専門業者によって修理されるまで運転しないでください。感電するおそれがあります。

アンダーカウンター設置

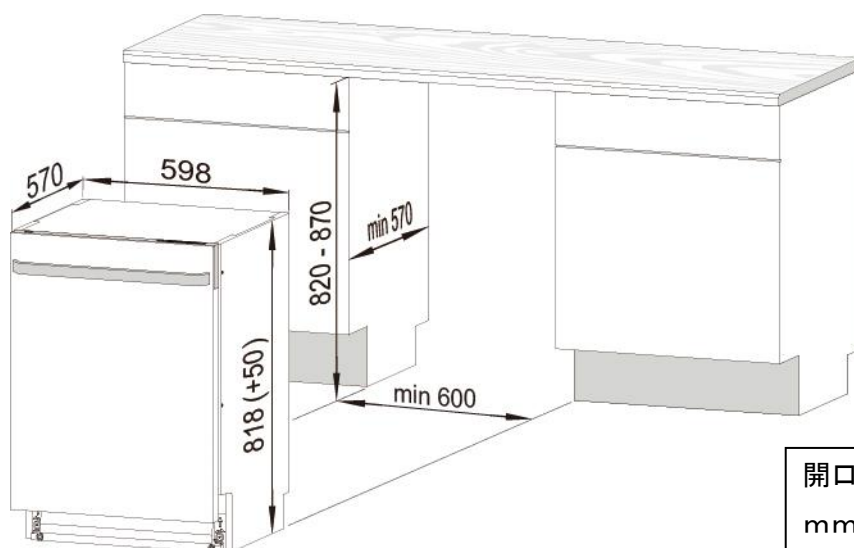
- ・設置作業は労働安全規則に適合しているか確認してください。
- ・設置作業を始める前に、設置場所が適切かを確認してください。
- ・同梱部品以外に使用する部品・道具類は、機器の所有者側にて準備してください。

同梱部品の確認

本製品には以下の同梱部品が含まれています。据付前に正しい数量で同梱されているかご確認ください。

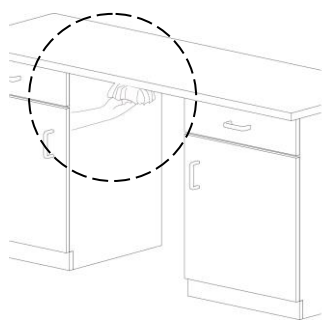
a	本体固定ブラケット	b	防湿アルミシール	c	巾木ブラケット	d	印刷物
						取扱説明書 (和文、英文) 製品保証書 据付説明書	
左右各 1 本		1 巻		左右各 1 本		各 1 部	
e	ビス $\phi 4 \times 36$ mm	f	ビス $\phi 3.5 \times 14$ mm	g	ビス $\phi 4 \times 6$ mm	h	側面固定ビスガイド
				 ビスカバー付(白、黒、灰)各 2 個		 ※本体に取付されている場合があります。→P6 参照	
2 本		6 本		2 本		2 個	
i	シーリングプレート	j	給水アダプタ	k	結束バンド	l	サンリーゴム
							
$\phi 50$ 、 $\phi 23$ 、特殊穴各 1		1 個		1 本		1 個	
m	巾木 A (ステンレス製)	n	巾木 B (ステンレス製)	o	巾木 C (ステンレス製)	p	排水ホース クランプ
							
1 枚		1 枚		1 枚		1 個	
q	ラバーシート B	r	断熱マット	s	延長脚 (+50 mm)	t	ソフトタッチラック
						 ※グラス類は含みません	
1 枚		1 枚		4 本		1 個	

- 1 設置場所に十分なスペースがあるか確認してください。

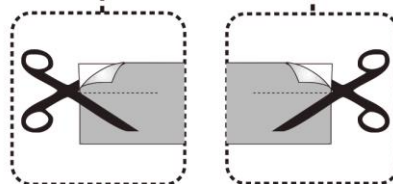
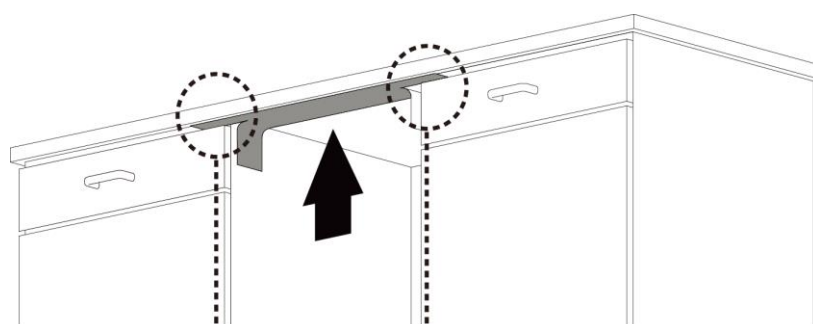


開口部高さが820～870 mmの範囲の場合は、調整脚で高さ調整可能です。

- 2 カウンター下側面および設置場所を清掃した後、同梱の防湿アルミシールを図にあるようにカウンター下側に貼ります。貼付面の形状に応じて適切にカットしてください。

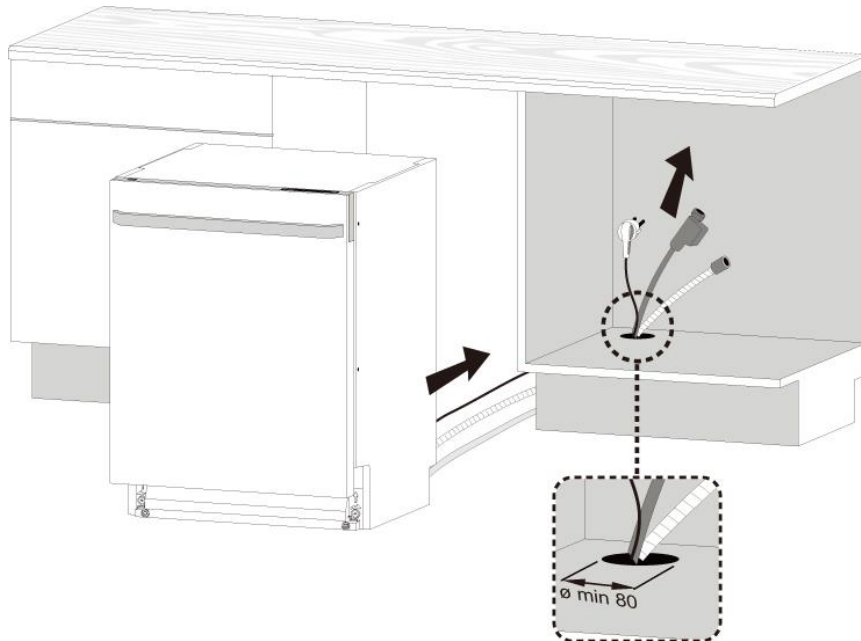


カウンター下側面も必ず清掃を行ってください。



防湿アルミシールの一部をカットして湯気がカウンターに直接当たらないように折り曲げて貼付してください。

3 電源コードとホース類を折り曲げないように注意しながら図のように給排水設備側へ通します。



排水ホースは取出口より上側の位置で設置してください。



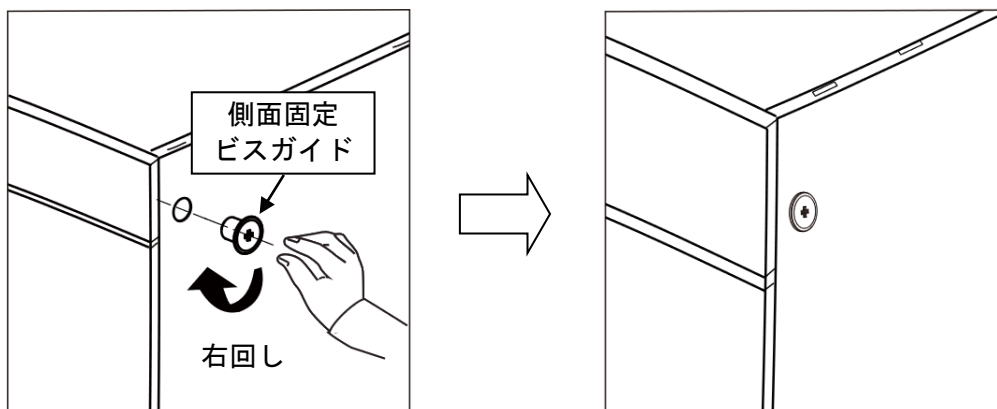
排水ホースは床面に触れないようにしてください。



排水ホースは背面で丸まらないようにしてください。

○側面固定ビスガイドの取付（予め本体に取付している場合があります。）

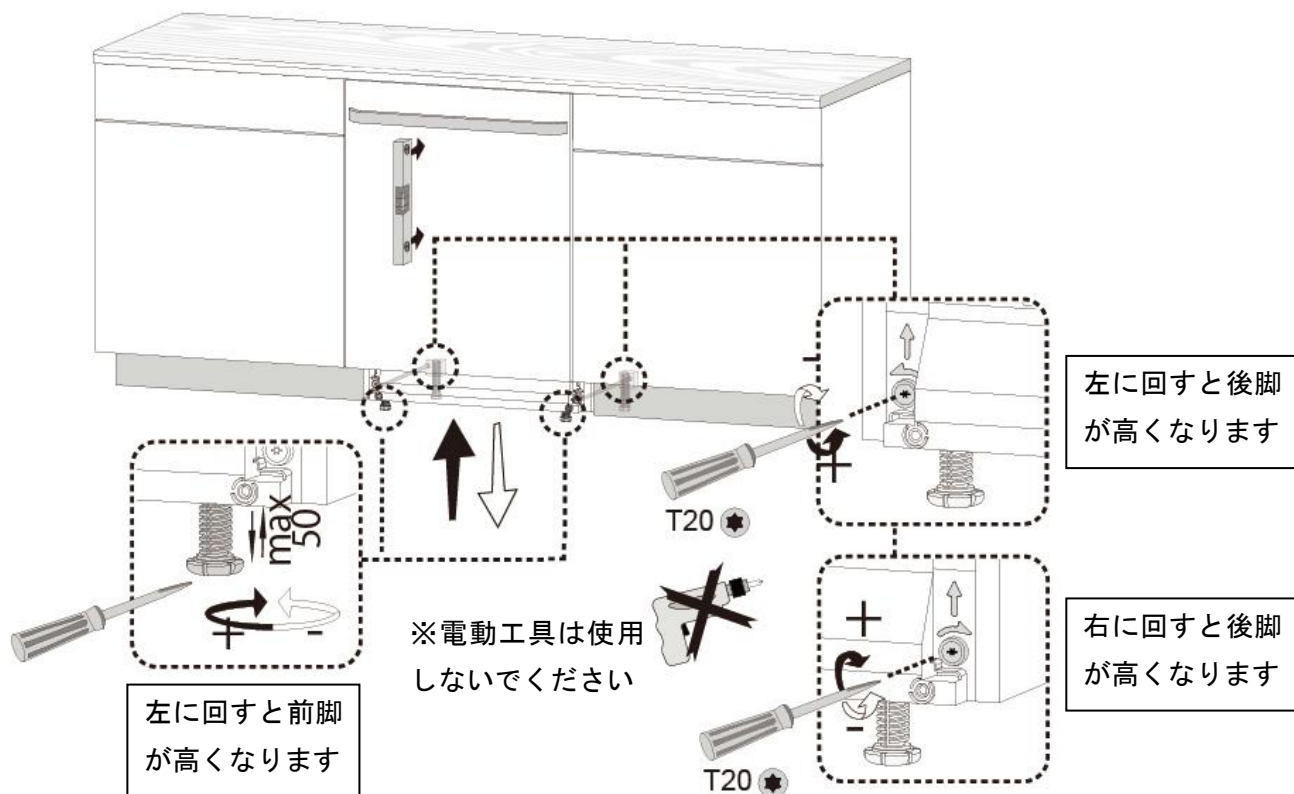
開口寸法が幅 600～610 mmの場合は、側面固定ビスガイドを取付してください。



手で優しく右に回して挿入してください。また、ドライバー類は使用しないでください。

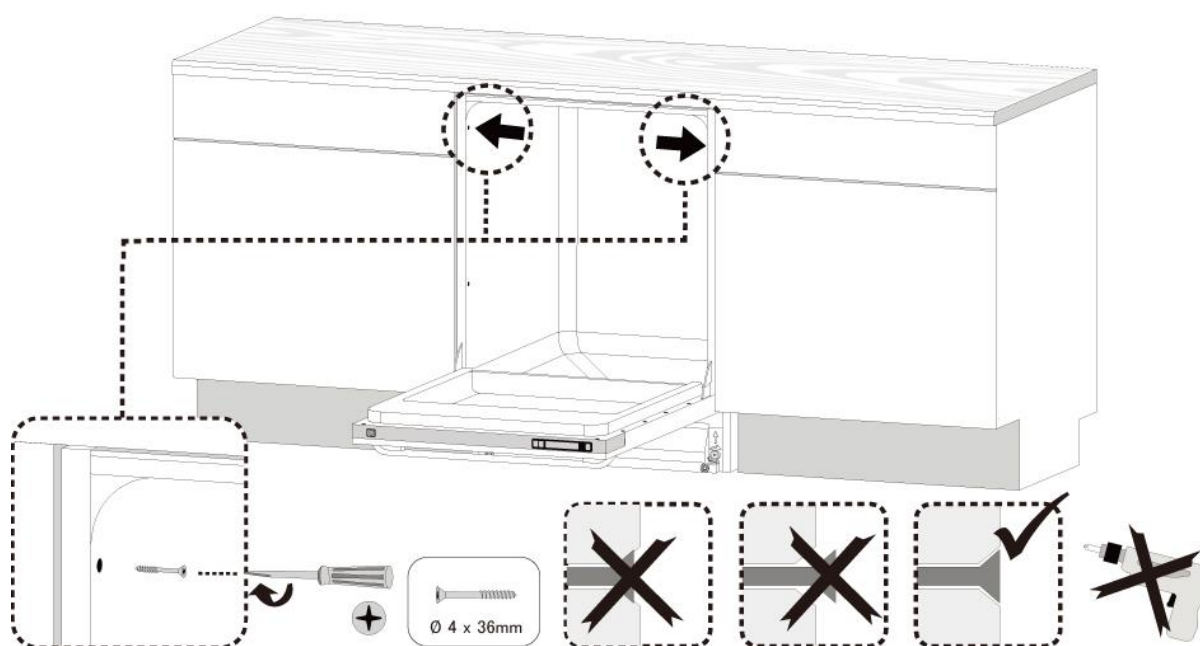
ご注意※本品を取付けせず据付する場合は側面固定ビスが垂直になるように施工してください。

4 カウンター内に収めた際に水平や垂直具合が丁度良くなるように調整脚を調節します。

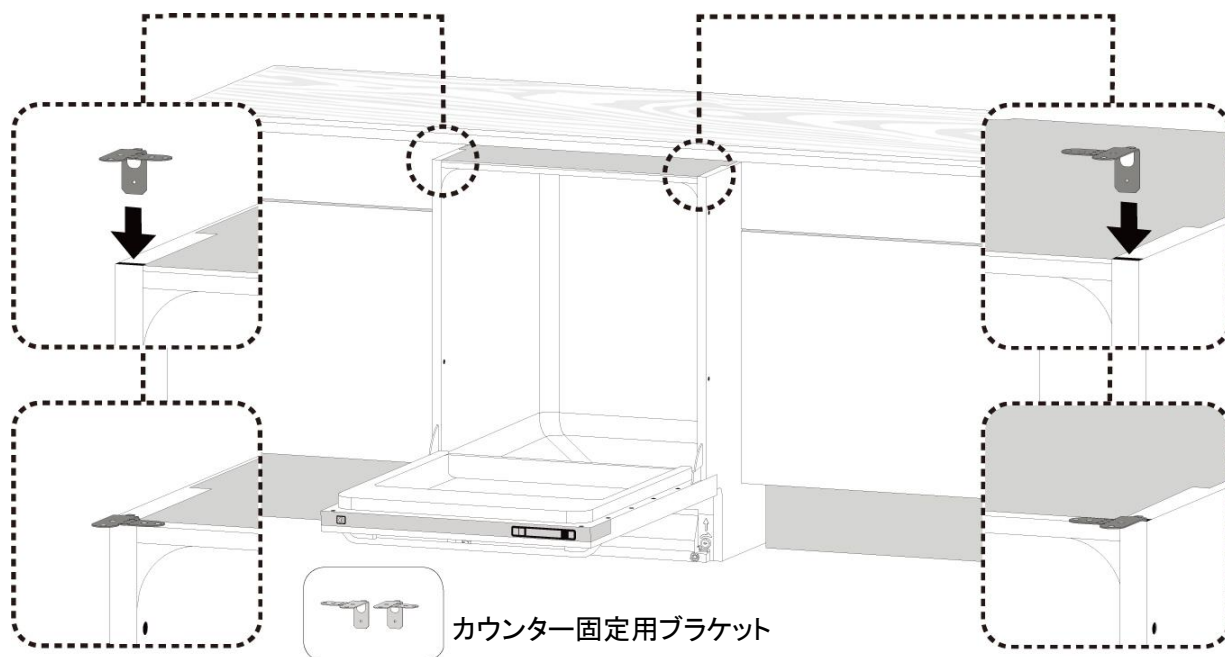


5 設置場所開口部の幅に合わせて適切な固定具を使用して本体を固定してください。

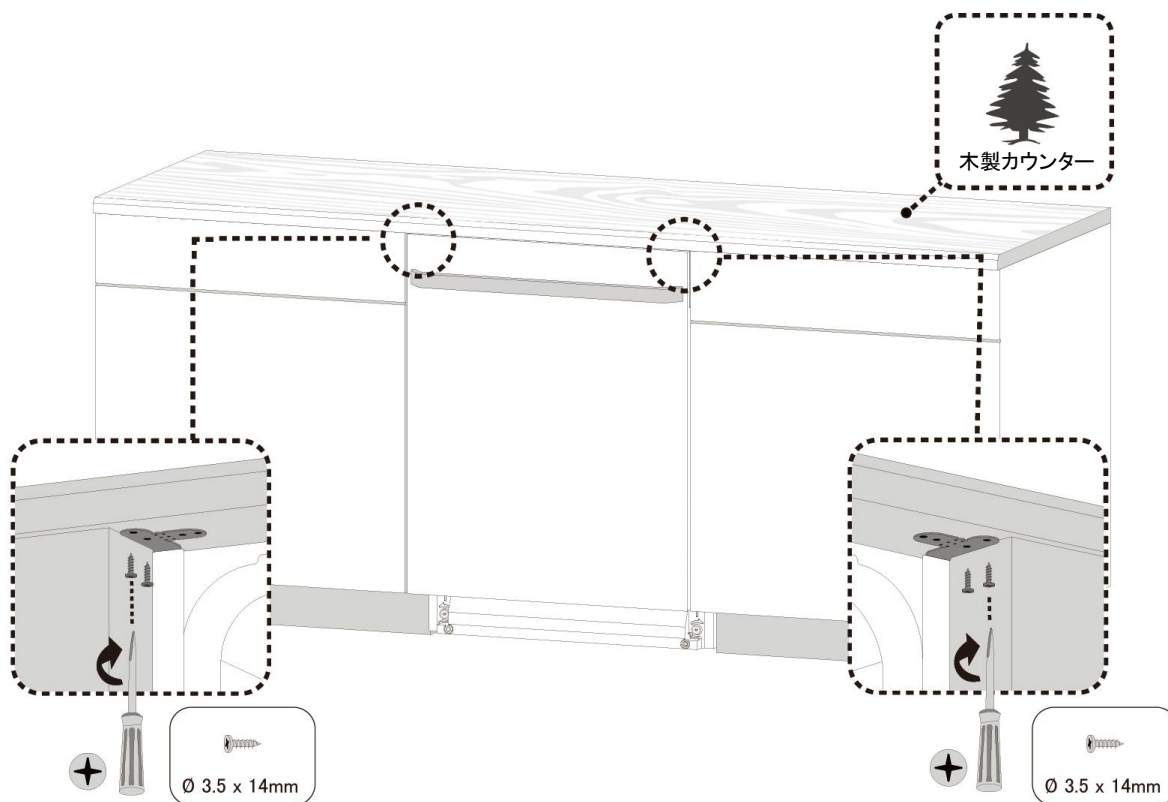
- ・本体側面穴で固定する



- ・カウンター面で固定する（木製カウンターの場合）



カウンターと本体をビス2本ずつで固定します。

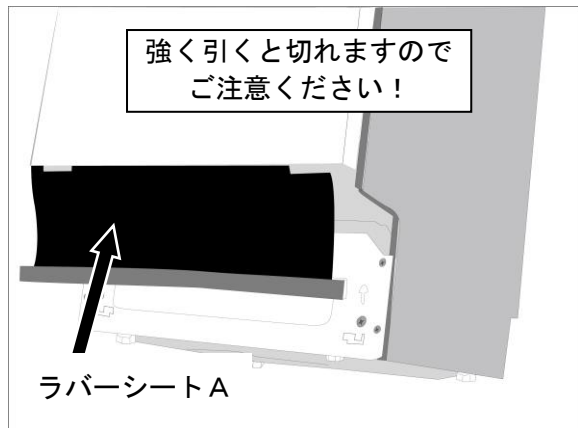


- ・カウンター面で固定できない場合

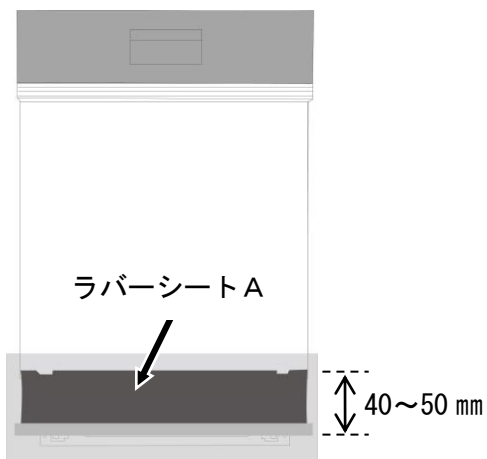
大理石等でカウンター面に固定ビスを使えない場合や本体隙間が無い場合は、カウンター固定用ブラケットを用いてサイドキャビネットに固定します。

6 ラバーシートの取付

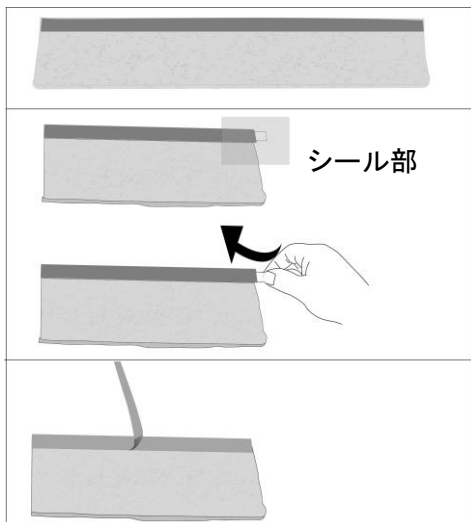
- ① ドアに付属しているラバーシートAを40～50mm程度やさしく手前を出してください。



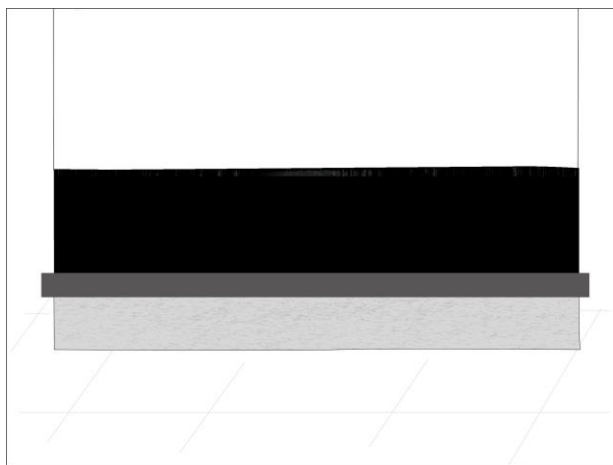
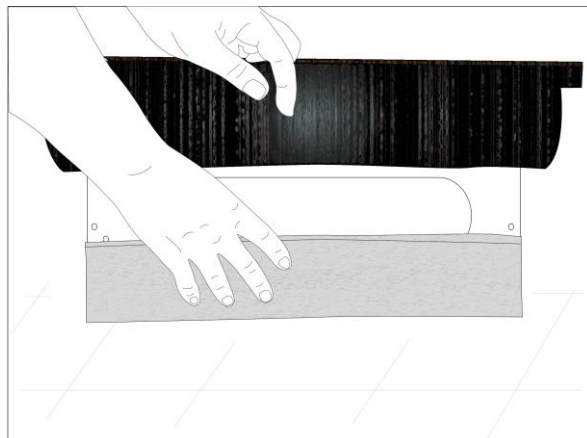
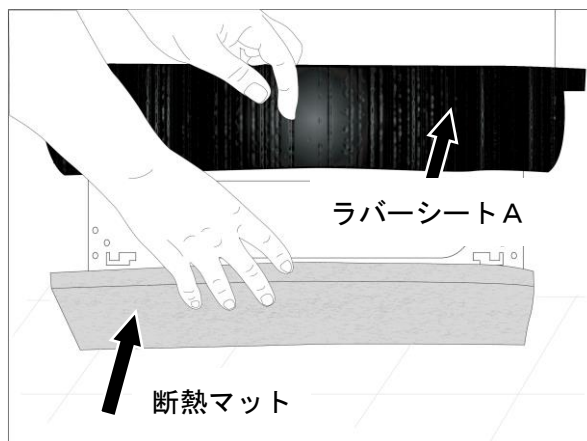
- ② ラバーシートAが均等に引き出されているか確認してください。



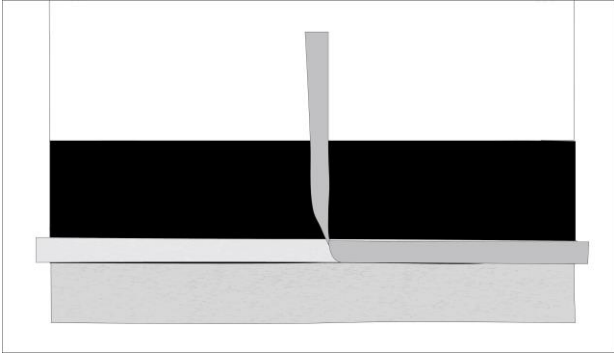
- ③ 断熱マットのシールをはがしてください。



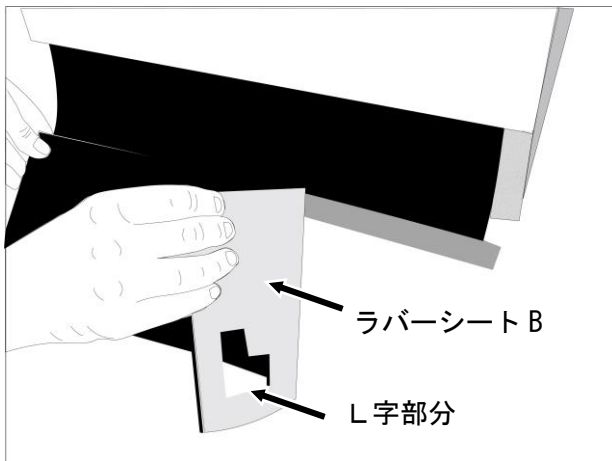
- ④ 断熱マットのシール面が上側及び奥側になるようにしてラバーシートAの背面に配置してください。



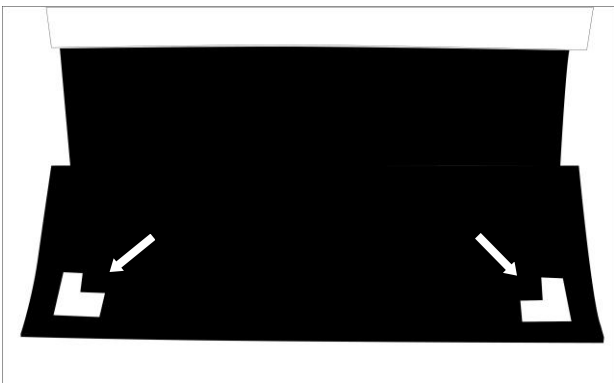
⑤ ラバーシートAのシールをはがしてください。



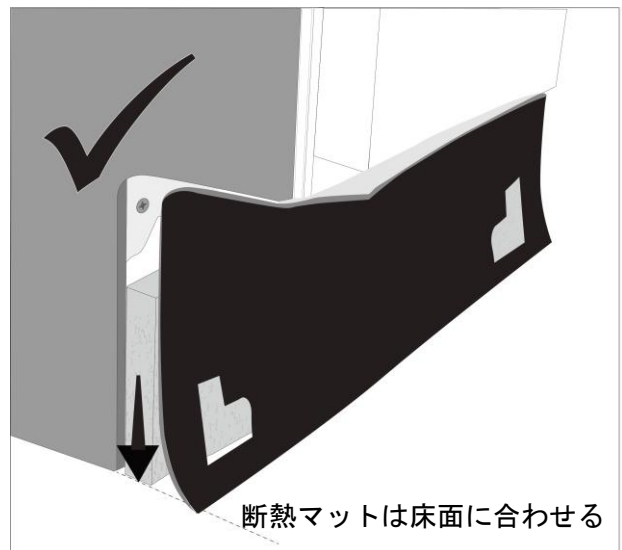
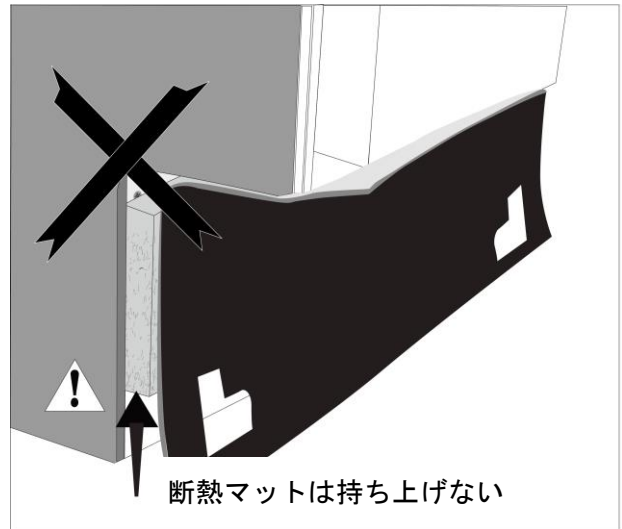
⑥ ラバーシートAにラバーシートBを貼付してください。※L字部分が下になるようにしてください。



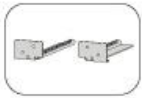
⑦ ラバーシートBが均等に貼付できていることを確認し、L字部分を取り除いてください。



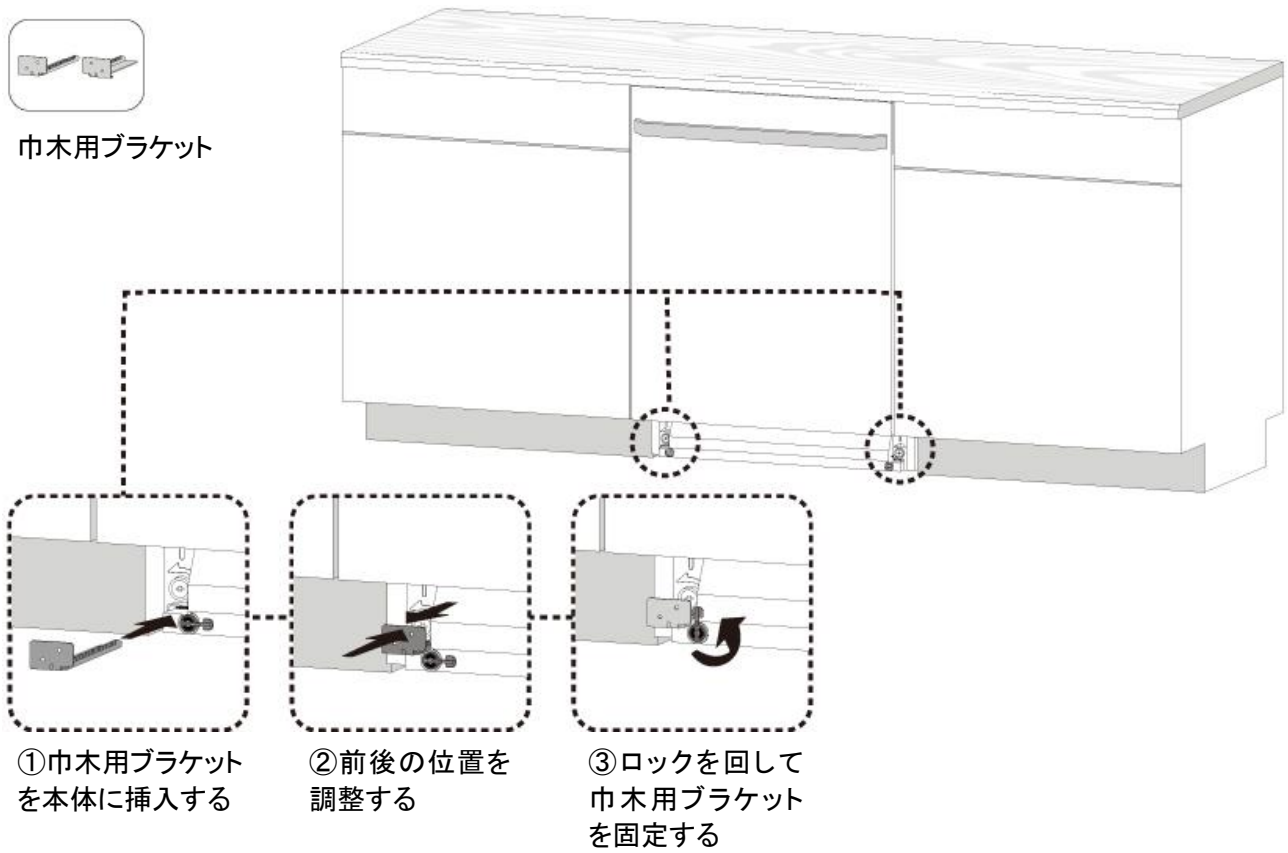
⑧ 断熱マットが床面と接した状態で断熱マットのシール部にラバーシートBを貼り合わせてください。また、断熱マットのL字部分も取り除いてください。



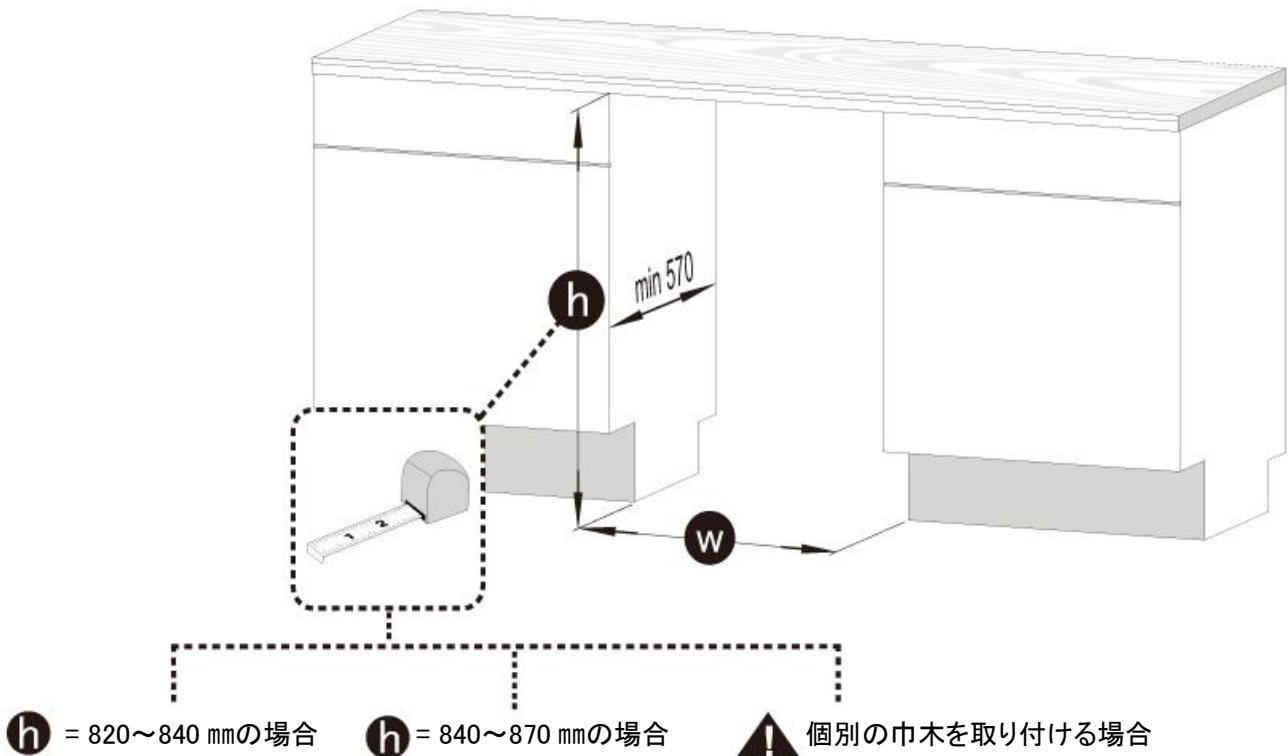
7 巾木用ブラケットを本体に挿入します



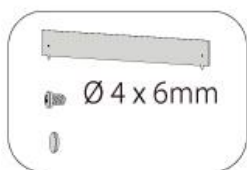
巾木用ブラケット



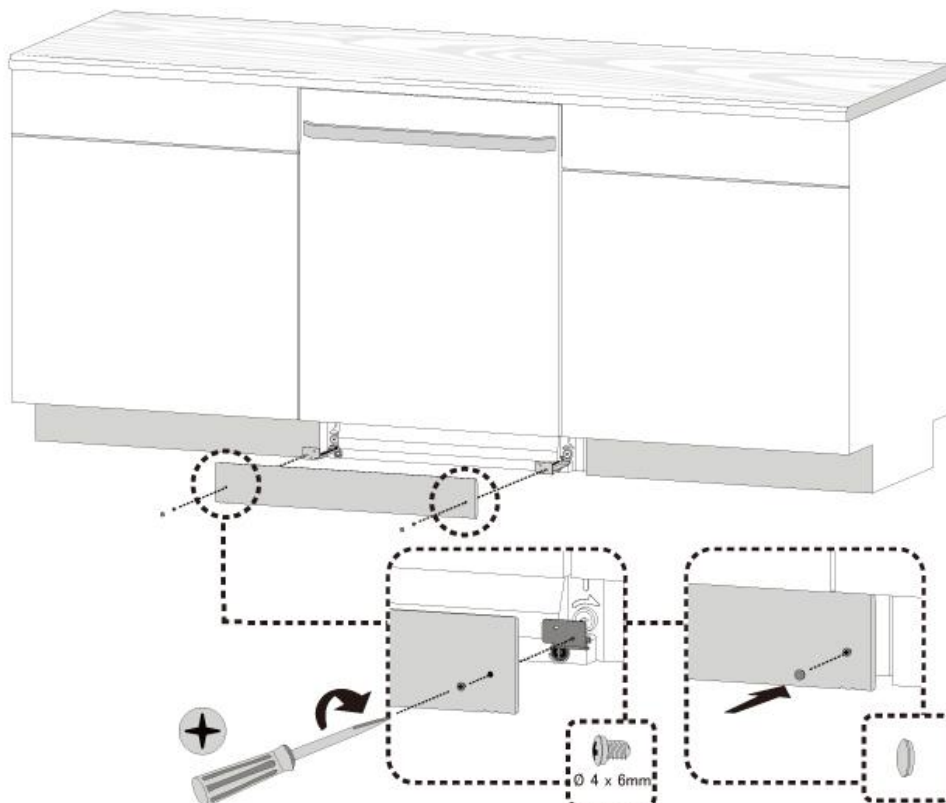
8 本体設置高さを測ります。(カウンター下部から床面までの高さ)



h = 820 ~ 840mm の場合



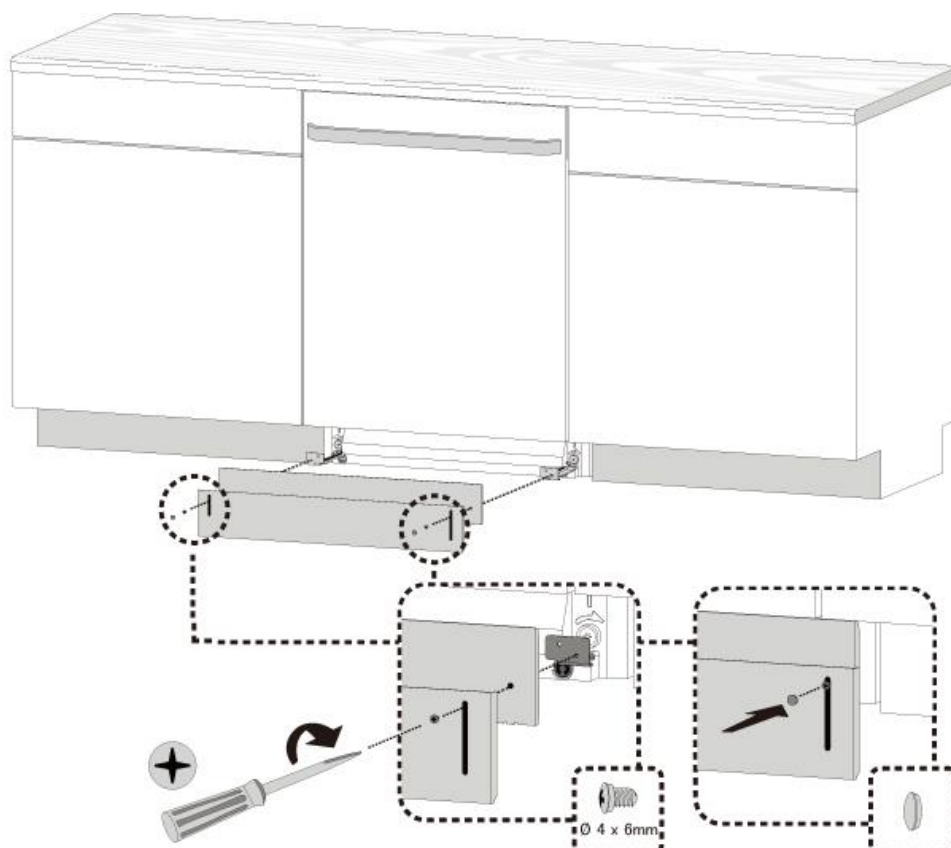
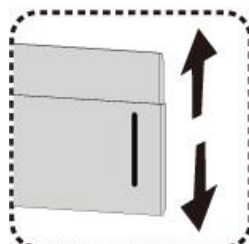
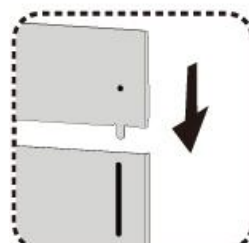
①キックプレート(上)のツメ2か所を内側に曲げる



②巾木用ビスで固定する

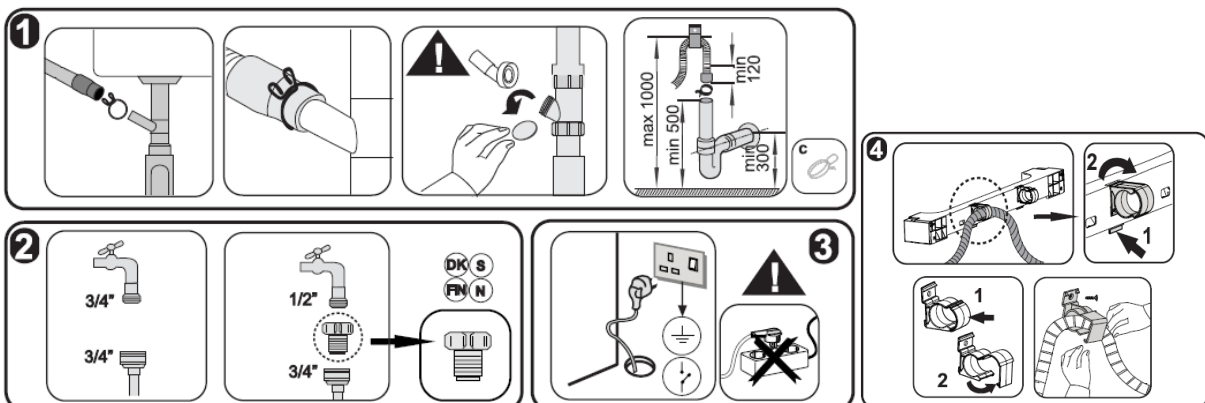
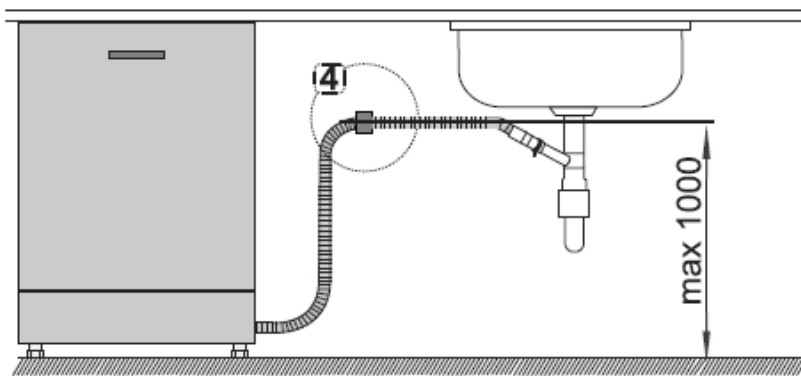
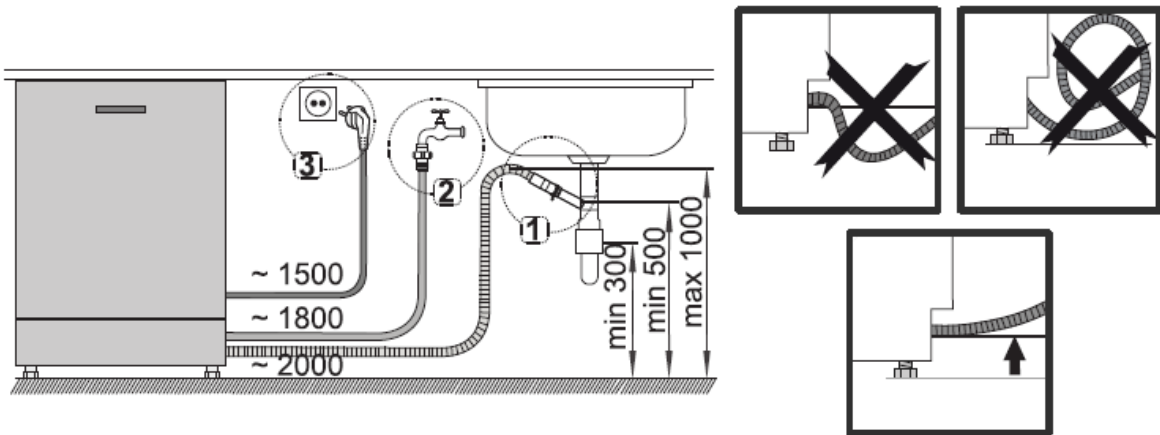
③巾木ビスキャップをかぶせる

h = 840 ~ 870mm の場合



もし設置場所のカウンター幅が610mm以下の場合は、本体内側左右にあるカウンター接続用穴を用いてカウンターとの固定を行ってください。この作業では電動工具は使用しないでください。

機器設置に関する注意点



据付後の点検

据付が完了したら試運転の前に必ず下記点検を行ってください。

<点検項目>

- 給水ホースが給水アダプターを介して、止水栓に確実に取付されていますか？
- 排水ホースが排水管にきちんと固定されていますか？
- 排水管が床面から400～500mm内の高さにありますか？
- 給水ホースおよび排水ホースによじれやつぶれがありませんか？
- 機器が水平に設置されていてガタついていませんか？
- 電源コンセントはアース付き単相200V専用回路で20A以上ですか？
- アース工事はされていますか？
- 止水栓を開いたときに接続箇所で水漏れしていませんか？
- フィルター一部に詰まりはありませんか？正しく装着されていますか？

据付後の試運転

上記点検で不具合が無いことが確認できたら、必ず試運転を行ってください。

<確認項目>

- 運転開始時に給水されること
- 運転中に接続箇所で水漏れしないこと
- 運転中にスプレーアームが回転すること
- 運転中やドアを開けた際に本機がガタつかないこと
- 適切に排水を行えること

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

TEL (03) 5643-1331 (代表)

FAX (03) 5643-1335